



2023 年 1 月 31 日

各 位

会 社 名 株式会社ウイルプラスホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 成 瀬 隆 章
(コード番号：3538 東証プライム市場)
問 合 せ 先 取締役 経営戦略本部長 宇田川 宙
(TEL. 03-5730-0589)

「みずほサステナビリティ・リンク・ローン PRO」の 融資契約締結について

当社は、株式会社みずほ銀行のご支援のもと、「みずほサステナビリティ・リンク・ローン PRO」を締結いたしましたことを、下記のとおりお知らせいたします。

記

○サステナビリティ・リンク・ローンについて

借り手のサステナビリティ方針・戦略と連携したサステナビリティ目標を設定し、金利等の借入条件をサステナビリティ目標達成に連動させることで、借り手に目標達成に向けたインセンティブを与え、環境・社会面において持続可能な経済活動および経済成長を促進し、支援することを目指すものです。

○「みずほサステナビリティ・リンク・ローン PRO」について

国際的な原則である「サステナビリティ・リンク・ローン原則 (SLLP)」に基づき、みずほ銀行が独自に開発したフレームワークにより組成する「サステナビリティ・リンク・ローン」。みずほ銀行が開発し、内製化したフレームワークは、第三者評価機関である株式会社格付投資情報センター (R&I) から「サステナビリティ・リンク・ローン原則」への適合性についての第三者意見 (※1) を取得しています。

○「みずほサステナビリティ・リンク・ローン PRO」のフレームワークについて

当社は、2022 年 8 月に発表した中長期戦略 (注 1) にて、グループ方針に「社会的価値向上」と「企業価値向上」の両立を目指すことを掲げ、自動車産業の脱炭素化を目指して気候変動問題解決に資する GHG 排出量削減等に取り組んでおります。本ローンにおけるフレームワークにて CDP (※2) 気候変動スコアにおいて融資期間以内に「A-」以上を取得することを SPT として設定しており、気候変動問題解決を通じた自動車産業の脱炭素化に貢献すると考えております。

当社は、本ローンの実施を通じて、当社グループのサステナビリティへの取組みにご理解をいただくとともに、引き続き輸入車正規ディーラーとして、気候変動問題解決のリーディングカンパニーを目指してまいります。

【本ローンの概要】

- | | |
|---------------------------|-----------------|
| 1. 契約締結日 | 2023 年 1 月 26 日 |
| 2. 実行日 | 2023 年 1 月 31 日 |
| 3. サステナビリティ・コーディネーター (※3) | みずほ銀行 |
| 4. 金額 | 20 億円 |
| 5. 契約期間 | 10 年 |

みずほサステナビリティ・リンク・ローン PRO 評価書

https://www.mizuhobank.co.jp/corporate/finance/growing_field/sll_pro/pdf/2022_02.pdf

(※1) 株式会社格付投資情報センター (R&I) による評価レポート。

https://www.r-i.co.jp/news_release_suf/2021/10/news_release_suf_20211007_jpn_01.pdf

(※2) 「CDP」は英国の慈善団体が管理する非政府組織 (NGO)。脱炭素社会の実現に向け、企業や自治体等の気候変動対応や GHG 排出量削減等の取り組みに関する情報を収集し、取組状況に応じたスコアリングを世界に公表することにより、各事業等の環境影響を認識させ、さらなる取り組みを促進させる事を目標とした機関。

<https://japan.cdp.net/>

(※3) サステナビリティ・コーディネーター：

サステナビリティ・リンク・ローン組成・設計にあたって、借り手の SPTs 設定等の支援を行う機関。

(注 1) 2022 年 8 月 24 日に開示いたしました決算説明会資料をご参照ください。

[140120220824523428.pdf \(xj-storage.jp\)](https://www.fscj.co.jp/storage/140120220824523428.pdf)

以上

当社のサステナブルファイナンスについて 補足説明資料

中長期戦略グループ方針

サステナビリティ 基本方針

豊かさ・楽しさ・喜びを
分かち合い、
笑顔溢れる社会づくりに
貢献し続けること

中長期戦略
ウイルプラスグループの
「社会的価値向上」
と
「企業価値向上」
の両立

輸入車販売業



店舗のグリーン化
店舗エリアの脱炭素化

成長戦略 M&A

- ①ドミナント化
- ②エリア拡大
- ③新ブランド獲得

社員のみなさま
お客様
株主様
お取引先様
地域社会のみなさま

社会に必要とされる企業

「持続可能な社会実現への貢献」
「社会的価値の創造」

「持続的成長」
「中長期的な企業価値向上」

- ▶後継者問題の解決
- ▶資産（資源）の再利用（リユース）
収益性改善
- ▶人材（人的資本）の再教育、活性化

当社グループ方針①



ウイルプラスグループの 「社会的価値向上」と「企業価値向上」の両立

…**社会課題の解決**と**企業の成長**の同時実現を目指す
社会的価値向上＝国内自動車産業の脱炭素社会の実現

当社グループ方針②

輸入車正規ディーラーとして、

- 気候変動問題解決のリーディングカンパニー
(GHG排出量削減)
- ブランドメーカーから選ばれるディーラー
(M&A加速、店舗エリア、ブランドの拡大)
- お客様から信頼されるディーラー
(店舗収益性、店舗再生力強化)

を目指す

①既存店舗のグリーン化

■CO2排出量削減

②M&A積極化

■買収店舗、
事業譲受店舗の**事業再生**

売上、利益の成長

■買収店舗、
事業譲受店舗の**グリーン化**

自動車産業における
CO2排出量削減の最大化

社会的価値向上

企業価値向上

時価総額最大化

社会的価値向上の最大化

事業戦略に合わせ、財務戦略もグリーン化

➡ サステナブルファイナンスの比率の引き上げ

資金使途

M&A待機資金（さらなる店舗のグリーン化）
EV、PHV車輛（運転資金）
急速充電器（設備投資） 等

➡ 本ローンは、運転資金としての資金調達

「みずほサステナビリティ・リンク・ローン PRO」の実施

■サステナビリティ・リンク・ローン（SLL）

借り手のサステナビリティ戦略と整合したサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下、SPTs）を設定し、**貸出条件とSPTsの進捗業績を連動**させて、
環境的・社会的に持続可能な経済成長を促進
設定した**SPTsの達成を目指すことで、サステナビリティ経営の推進へと繋げる**

■みずほサステナビリティ・リンク・ローン PRO（みずほSLL） ※今回実施

みずほSLLは、そのフレームワークがサステナビリティ・リンク・ローン原則に適合し、
みずほにおけるみずほSLLの実施体制が強固であることについて、
株式会社格付投資情報センター（R&I）によりセカンドオピニオンを取得している

実行日	2023年1月31日
契約期間	10年
借入金額	20億円
サステナビリティ・コーディネーター	みずほ銀行
KPI	CDP気候変動スコア
SPTs	本融資期間中に取得するCDP気候変動スコアにおいて、「 A- 」以上の取得

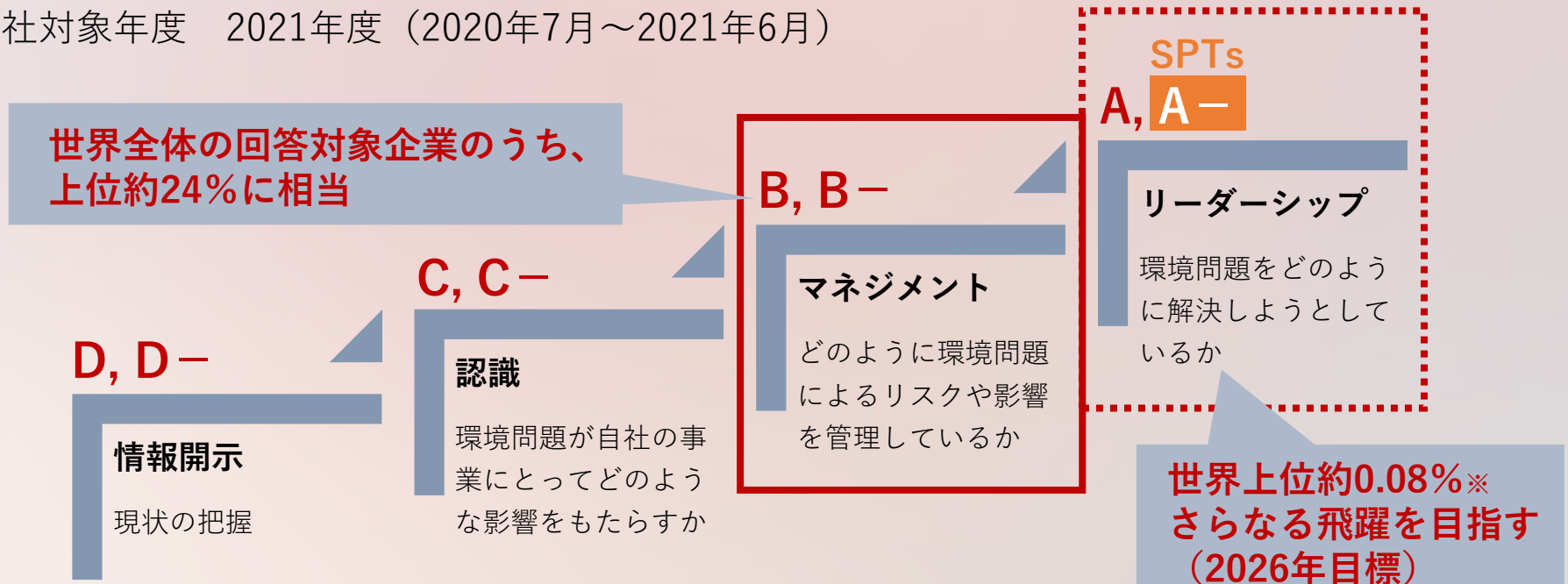
CDPとスコアについて①

■CDP（カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト）とは

- ▶世界中の機関投資家・購買企業の要請を受けて、企業の環境情報開示を促進する国際団体
- ▶CDP質問書は、ESG情報の「E」に関するグローバルスタンダードとして、組織の環境開示をA～Fで評価
- ▶2022年、世界の時価総額の半数に相当する18,700以上の企業と1,100強の自治体を含む20,000以上の組織が、CDPを通して環境情報の開示をしており、世界中の機関投資家・購買企業が、意思決定に活用
- ▶日本ではプライム上場企業1,000社以上を含む1,700超の企業・団体が回答

■当社の2022スコア B（初回答）

- ▶分野 気候変動
- ▶当社対象年度 2021年度（2020年7月～2021年6月）



※2022年度CDP回答対象企業

CDPとスコアについて②

■東証プライム市場の関連企業スコア **当社が関連業界トップ**

当社	ネクステージ	IDOM	日産東京販売HD	VTホールディングス
B	F	F	F	非公開
USS	プロト	キーパー技研	オートバックス	イエローハット
C	D	F	F	F

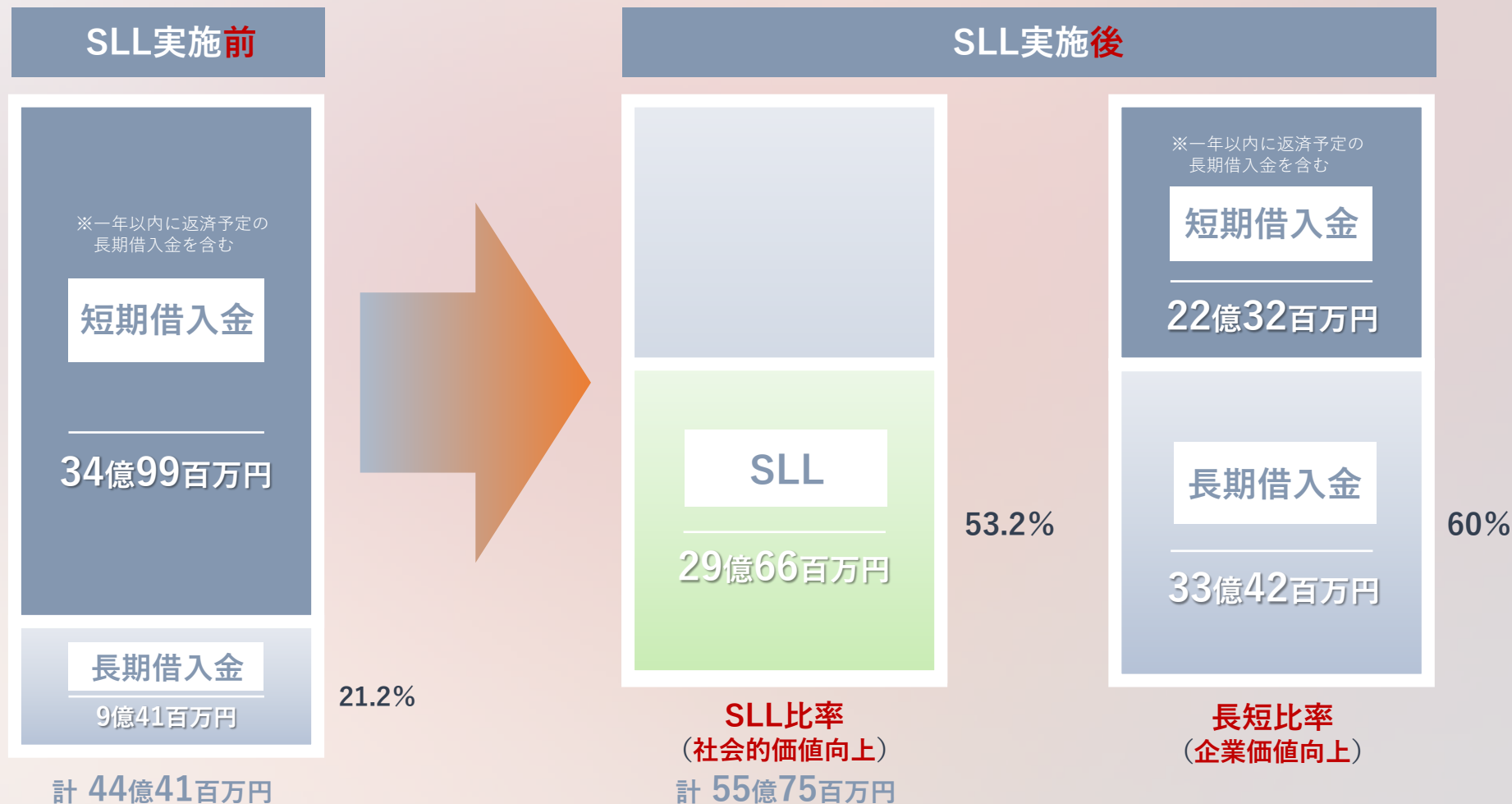
■2022 その他企業例

トヨタ自動車 A-	日産自動車 A-	本田技研工業 B	スズキ B	マツダ B
伊藤忠商事 B	三井物産 B	セブン&アイHD B	ローソン B	ファミリーマート B
カルビー B	良品計画 B	東海旅客鉄道 B	オリエンタルランド B	オリックス B

※上記はいずれもCDP2022「気候変動」におけるスコア

当社の借入状況とサステナブルファイナンス比率

- SLL実施により、当社のサステナブルファイナンスの比率は**53.2%**に
- 今後もさらに借入金に対するサステナブルファイナンスの比率を高める方針
- 今後のM&A（＝主に運転資金増）に備え、**長期有利子負債の比率を高める（1月末現在：60%）**



当社の店舗のグリーン化 -進捗状況-

店舗エリアにおけるEV普及促進に対応した設備投資などを実施
輸入車ディーラーとして、いち早く店舗のグリーン化を推進し、
自動車産業の脱炭素化に貢献

※1Q末(9月末)ベース

低炭素自動車(EV/PHV)比率

- 新車販売 **3.7%** (1Q)
…国内市場(国内新規登録台数/乗用車) 3.5%
- 新車受注 ※店舗報告ベース
1Q末受注残 **6.3%**
1Q受注 **6.2%**
- 社有車 **9.0%** (1Q)

EV充電器 **59台** / (35店舗)

- …うち、急速充電器**10台**
急速充電器設置済みブランド



再生可能エネルギー導入店舗数

20店舗 / (35店舗)

当社グループ方針 まとめ

私達ウイルプラスグループは、
「**気候変動問題解決**」を「**機会**」と捉え、
「**M&A**」を通じて、「**新規エリア**」、「**新規ブランド**」の
獲得を目指し、事業拡大を積極的に行います。

「**事業の最大化**」を進めながら、
「**店舗のグリーン化**」を実施し、
「**GHG排出量削減の最大化**」を追求し続けます。



我々の存在意義

MISSION STATEMENT

我々は輸入車のある生活を提案し、
より多くの皆様と豊かさ・楽しさ・喜びを分かち合い、
関わるすべての人々を温かい笑顔に
変えていく挑戦を続ける。



免責事項・お問い合わせ

本資料には、当社（連結子会社を含む）の見通し等の将来に関する記述が含まれております。

本資料に記載されている計画、見通し、戦略等、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報を基礎とした判断及び仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性及び今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、将来における当社の実際の業績と大きく異なる可能性があります。また、本資料に記載されている当社及び当社グループ以外の企業等に関わる情報は、公開情報等から引用したものであり、情報の正確性等について保証するものではありません。

IRに関するお問い合わせは下記まで

株式会社ウイルプラスホールディングス 経営戦略本部 IR室

E-mail : ir-info@willplus.co.jp

電話番号 : 03-5730-0589（土日祝除く10時00分～17時00分）

URL : <https://www.willplus.co.jp>

未来に+ α の喜びを

私たちはお客様に輸入車のある生活を提案し、関わる全ての人々を笑顔に変えていく挑戦を続けます